

# 山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成24年度第1回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成24年6月21日(木) 18:00~19:45		
場所	小野田保健センター		
出席者	厚狭郡医師会 山陽小野田市社会福祉協議会 小野田市医師会 小野田歯科医師会 厚狭歯科医師会 小野田薬剤師会 山陽小野田市ふるさとづくり協議会 山陽小野田市自治会連合会 山陽小野田市連合女性会 山陽小野田市母子保健推進協議会 山陽小野田市食生活改善推進協議会 山口宇部農業協同組合 山口県看護協会小野田支部 山口県栄養士会宇部専門部会 山口県歯科衛生士会小野田支部 (出席者数 15人)	河村 芳高 (会長) 小柳 朋治 (副会長) 松岡 彰 (委員) 多原 康成 (委員) 嶋田 修士 (委員) 野村 茂正 (委員) 杉本 保喜 (委員) 藤田 正人 (委員) 岡部 つや子 (委員) 吉田由美子 (委員) 半矢 幸子 (委員) 笹木 伸子 (委員) 真鍋 美千代 (委員) 坪河 蓉子 (委員) 村中 洋子 (委員)	
欠席者	厚狭薬剤師会 山陽小野田市老人クラブ連合会 山陽小野田市小・中学校PTA連合会 (欠席者数 3人)	松浦 純一 (委員) 平田 武 (委員) 平山 正男 (委員)	
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター	酒井 恵子	
事務局	健康福祉部長 田所 栄 健康増進課技監 山根 愛子 健康増進課課長補佐 河野 静恵 健康企画係主任主事 竹森 和貴	健康増進課長 兼本 裕子 健康増進課課長補佐 深井 篤 成人保健係係長 石井 尚子 健康企画係係長 岡村 敦子	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 新委員、事務局紹介</li> <li>3. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成24年度山陽小野田市保健事業概要について</li> <li>(2) SOS健康づくり計画中間評価について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>4. その他</li> </ol>		

事務局	<p>SOS おきよう体操を参加者全員で行う。</p> <p>かたつむりでいこう会を中心に取り組んでいる、おきよう体操をぜひ覚えていただき、地域、職場で広めて頂きたい。</p>
1. 部長 あいさつ	部長によるあいさつ。
2. 新委員、事務局紹介	新委員、事務局の紹介。
3. 議事  事務局	<p>(1) 平成 24 年度山陽小野田市保健事業概要について 資料（平成 24 年度 山陽小野田市保健事業概要）説明</p> <p>1 山陽小野田市の概況について 地域環境特性、人口および人口構成、校区別世帯数・人口 人口動態、死亡統計、産業別人口（15 歳以上）、医療施設数</p> <p>2 母子保健事業 母子保健事業システム、母子健康手帳交付、マタニティスクール 育児学級、健康教育、すくすく相談、スキ・すき☆スキンシップ げんきっこクラブ、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、年中・年長児の心理相談、訪問指導、地区組織活動、不妊治療費助成制度</p> <p>3 健康増進事業 健康手帳交付、健康相談、健康教育、健康診査、訪問指導</p> <p>4 健康づくり事業 栄養改善事業、ねたろう食育博士養成講座、女性の健康診査 地区組織活動、第 3 回 SOS 健康フェスタ、自殺対策強化事業 地域職域連携事業</p> <p>5 感染症予防事業 結核予防、予防接種</p> <p>以上、5 事業について説明を実施。</p> <p>会 長 本日はひとりひと言ずつはご意見いただきたい。5 つの事業を 1 事業ずつ質疑を行っていく。</p> <p>会 長 それでは、1 山陽小野田市概況から質疑を始めたい。なにか意見、質問等ないか。</p> <p>委 員 山陽小野田市は 4 年間で人口が 2,000 人弱が減少し、高齢化が進み、核家族化が進んでいる。この状況は全国共通だといえると思う。離婚率も本市は全国と同じくらい高い。</p> <p>委 員 本市は気管・気管支及び肺がんの割合が全国と比べても高い。だからこそ「禁煙」が大切。市は禁煙を柱として勧めていくべきだと思う。</p> <p>事務局 肺がん検診の間診票に禁煙する意思があるかないかの項目を加えた。たばこをやめる意思のある方々に禁煙サポートに関するチラシを配布し、</p>

	禁煙をサポートする取り組みを始めている。総合健診後も禁煙指導を実施していきたいと考えている。その際には委員の皆様にもご指導いただきたい。
委員	山口県の動きとして禁煙サポーターを作ろうという動きがあるが本市ではどうか。
事務局	昨年度健康推進員の何名かが禁煙サポーターになっている。
委員	受動喫煙の方が身体に悪影響を及ぼすという話を聞くが、市で受動喫煙の影響が分かるような調査は実施していないか。 喫煙者は減少してきていると思うが、それが発癌者の減少につながっているということはないのか。
委員	喫煙者の減少は確かであるが、発癌するまでには20年から30年間くらいかかる。今の日本では年に約15,000人が喫煙の影響で死亡する。
事務局	山口県のがん計画書には行政や医療機関での受動喫煙者の割合を平成34年度までに0%にするという具体的な目標が内容の中に入っている。このことから考えても、受動喫煙に対する意識は高まっていると思われる。
委員	家庭内での受動喫煙が多い。ヘビースモーカーの親もいるが、子どもを守る事が大切。行政、教育機関が協力して、親の教育が大切だ。
委員	女性がたばこを吸うのを良く見るようになった。
会長	喫煙に対して事務局からなにかあるか。
事務局	喫煙をはじめてから発癌するまで20年から30年のタイムラグがあるというお話をさきほど伺った。では、20年から30年間喫煙していた場合、仮に禁煙を始めたとしても効果が無いということなのか。
委員	禁煙は5年がんばれば効果が出始め発癌率が下がる。遅くはない。禁煙は個人ではなかなか難しいので医師会、薬剤師会をぜひ利用して頂きたい。
委員	いまさら禁煙しても意味が無いと思っていたため、効果があることが分かりよかった。
委員	受動喫煙についてはレストランやバーなどでも禁煙が徹底されるよう行政の指導が必要なのではないか。
委員	山口県も罰則付きの条例をつくるよう医師会も動かないといけない。
会長	それでは、次に2母子保健事業について何かご意見があればお願いしたい。
委員	妊婦健康診査に23年度からクラミジア検査を追加した理由は何か。
事務局	国からの通達によるものである。
委員	今の社会では性病は発見しにくい病気だとくくが、日本で性病が多くなってきているのか。
事務局	女性の性感染症のなかでもクラミジアは1番多い。出産の際に子どもに感染する危険がある。
委員	こころのサポーター養成講座については66人中34人がサポーターになったと書いてあるが、サポーターになってくれる割合は低いのか。
事務局	こころのサポーター養成講座については2回で1講座となっている。延べ人数が66人であり、受講していただいた方は全員サポーターになっ

	て頂いている。
委員 事務局	母子保健推進員が関わる対象者はだれか。 対象は妊婦、産後4か月までの乳幼児。「病院へのつなぎ」を役割としている。
委員 事務局	離婚率の上昇やシングルマザーの増加によってうつが増えるということとは考えられないか。 この関係性を示す統計は無い。実際の現場での感覚でもこの関係性は感じない。
委員 事務局 オブザーバ	シングルマザーになると子育ての面で負担が大きくなるように感じる。だからこそ、うつとの関係があるのではないか。 この関係性について分析が出来ていない。 周産期母子医療センターに勤務した3年間でシングルマザーでうつ病になられた方はいない。 もともとうつ病の方がシングルマザーになることはあった。シングルマザーになる人は強い覚悟を持っているためかえって精神的に強い。
委員	結婚してから子どもをもうけ、離婚し、シングルマザーになるほうが精神的に負担が大きいということなのか。このような方たちのために民生委員の出番があると思う。
委員	子どもの虫歯について良い対策はないか。
委員	親の仕上げ磨きが大切。親が歯磨きの見本を見せることも大切。個人的には「ながら磨き」を薦めても良いと考えている。歯磨きを習慣付けることが大切。 歯磨きを一生懸命実施しても虫歯になることがある。虫歯にはフッ素がもっとも有効である。市販されているものでフッ素配合の歯磨き粉はフッ素の量が少ないため効果があまり大きくない。やはり、歯医者へ行きフッ素を塗ってもらうことが一番効果的。
委員	歯を磨くことはもちろん大切なことであるが、食事も大切である。甘いものなどを食べた後口をゆすぐことが大事。
委員 事務局	行政はどのような場面で虫歯について指導しているか。 あらゆる場面で実施している。マタニティスクール、育児学級では話と方法を具体的にしている。1.6健診では一人一人仕上げ磨きの確認と実技を実施、3.6健診で1.6健診の確認をしている。児童館や幼稚園、高校に行き話すこともある。
委員	やるべきことはやっているということがわかった。
委員	フッ素への取組みについては地域で差がある。
委員	フッ素を歯科医院でするとどのくらいの値段なのか。
委員	自由診療なので歯科医院によって違いがある。約3ヶ月効果がある。
会長	次に3健康増進事業についてご意見、質問などあるか。
委員	健康診査の受診率が低いのは平成の大合併の影響があるのではないかという話を聞くことがあるが、その点はどうか。合併により地域ごとの健康推進員や民生委員がいなくなり、健診を勧めるなどの細やかな対応が出来なくなっているのではないか。

事務局	<p>また、集団検診の回数をもっと増やしたほうが良いのではないかと。</p> <p>健康推進員や民生委員が活動しにくくなっている最も大きな原因は個人情報保護の観点から、情報の流れが変わったことである。またこのような状況が合併の時期と重なった事もあるが、現在の健康推進員による地域への呼びかけやチラシの配布などの取組みは行われている。</p> <p>集団検診の回数については、公民館などで実施したり、平日にも健診を実施したりするなどの取組みを行っている。今後もさまざまな工夫を行いたい。</p>
会長 委員	<p>次に4健康づくり事業について意見や質問はないか。</p> <p>ねたろう食育博士養成講座は大変素晴らしいと思う。どのような方々をターゲットにし、どのようにPRしているのか。</p>
事務局	<p>ターゲットは若いお母さん方である。このため、まずは子どもに興味を持たせることで若いお母さん方にPRしている。また、学校を通じて5・6年生の生徒全員にチラシを配るなどの取組みを実施している。</p>
委員 事務局	<p>博士の認定を受けた人たちはその後どのように活動するのか。</p> <p>この点については今後の課題である。博士の認定を受けた者に次の博士養成講座で実践していることを話してもらうことを計画している。また、ネットワーク会議の中では学校で給食時間に食育についての話をしてもらうなど依頼している。食育の大切さを広くPRできる機会を作っていきたい。</p>
会長 委員	<p>他に健康づくり事業について意見等ないか。</p> <p>シングルマザーとうつ病の関係性が先程話題になったが、シングルマザーと虐待との関係性のほうが強いように感じる。赤ちゃん訪問を実施しているが、やはり、DVや虐待の発見は難しいと感じる。</p>
委員 事務局	<p>行政の虐待への対策はないか。</p> <p>こども福祉課や児童相談所と連携を図り、訪問等を実施し情報を集めて対応している。実際に保育園から通報を受けたことなどもある。</p> <p>こども福祉課が窓口で行っている。支援員（専門家）が県や教育委員会とも連携をとり、家庭や学校に働きかけている。虐待の件数が増加してきているということは無いが、根は深いと感じる。県、関係部署と連携をとって対応している。</p>
会長 委員	<p>食生活改善推進員から何か意見はないか。</p> <p>食生活改善推進員として健診の受診率を上げるために動いてきた。チラシを配る際などは出来る限り手渡ししたり、一言添えて渡すなど、「目でうったえる活動」をテーマに活動した。来年度の受診率を楽しみにしている。</p> <p>食育についても「目でうったえる活動」として食育カルタやエコわらじに取り組んだ。食生活の乱れが虐待にも繋がっていくのではないかと感じる。</p>
会長 委員	<p>食生活について薬剤師の観点から何か意見はないか。</p> <p>初診の方には問診をとっているが、この結果から規則正しい食生活ができていない人が多いと感じる。男性が多く、正しい食生活が出来ない理由としては仕事が激務であるという事が多い。</p>

	<p>女性については高齢者や、持病もち（骨粗鬆症など）の方が多。正しい食生活が出来ていない理由としては、「料理に手を加える家庭が減ってきた」、「健康食品に頼りがちになってしまう」などがある。</p> <p>したがって、食育については、バランスの良い食事のレシピを提供していくような取組みが大切であると思う。</p>
会 長	<p>次は5感染予防事業について、予防接種等で何か意見はないか。</p>
事務局	<p>予防接種についてなにか問題等はないか。</p>
委 員	<p>ポリオが法改正で9月から生ワクチンが不活化ワクチンになる。11月からは3種混合に混ぜて4種混合になっていく。</p>
事務局	<p>子宮頸がん予防ワクチンやヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンなど接種率がまだ低いのではないか。</p>
会 長	<p>子宮頸がん予防ワクチンについては年度初めに学校にパンフレットを配り、夏休みにはチラシを配付している。国によると、あくまでも「任意接種」であるため、積極的勧奨の対象になっていない。</p>
委 員	<p>他に何かご意見、質問等ないか。</p>
事務局	<p>訪問指導について質問がある。平成22年度から平成23年度にかけて要注意者の数が2倍近くになっているが何か理由があるか。</p>
委 員	<p>精検未受診者を減らすため、がんの精密検査などの説明に保健師がより積極的に出向き精密検査を受けるよう勧めてきたことが理由であると思う。</p>
事務局	<p>効果はあったのか。</p> <p>保健師が訪問したことで、どれほどの効果があったのかは分からないが、精検票は今まで読んでもらうことすらされないこともあったため、個別訪問を実施した。</p>
会 長	<p>他に何か意見、質問等ないか。</p>
委 員	<p>虫歯とシングルマザーの関係が目についた。虫歯については家庭での対応が大切であるが、やはりシングルマザーは負担が大きいのではないか。</p>
事務局	<p>(2) SOS健康づくり計画中間評価について</p> <p>今年度は中間評価の実施年度である。このため、中間評価に向けてアンケートを実施したい。21年度(前回)と同じ枚数のアンケート配布を今回もお願いしたい。</p>
委 員	<p>前回の回収率はどのくらいか。</p>
事務局	<p>皆様のご協力のおかげで87.7%と高い回収率だった。</p>
委 員	<p>アンケートの対象者などに変更があるか。</p>
事務局	<p>小さい子ども、男性が前回のアンケートでは少なかったため増やしたいと考えている。</p>
委 員	<p>アンケートの内容に変更はあるのか。</p>
事務局	<p>前回のものをベースとして、4つの部会や保健事業評価の役に立つような項目を少し増やそうと考えている。</p>
会 長	<p>アンケートの配布枚数については了承いただいたということによりよろしくをお願いしたい。</p>

<p>会 長 委 員 事務局</p> <p>3. その他 事務局 事務局 事務局</p>	<p>(3) その他 (意見なし)</p> <p>最後に何か意見、質問等あるか。 病児保育は本市ではどのくらい行われているか。 小野田地区では砂川小児科医院、山陽地区では厚狭のキッズあさひと、それぞれ一箇所ずつある。連絡すれば預かってもらえる。下関、宇部にもあり、今後は宇部との連携を強めていく予定である。</p> <p>次回の健康づくり推進協議会の日程を決めたい。 何か今回の会議の内容以外でもご意見、質問等ないか。 本日はお忙しい中お集まり頂き、活発なご意見を頂けた事に感謝したい。今後の保健事業にぜひとも活かしていきたい。</p> <p>平成 24 年度第 2 回開催予定 日付 平成 24 年 10 月 11 日 (木) 時間 18 : 00～ 場所 小野田保健センター</p>
--	---